

名古屋経営短期大学アドミッション・ポリシーと入試の相関表

名古屋経営短期大学アドミッション・ポリシーと入試の相関表

＜名古屋経営短期大学のアドミッション・ポリシー＞

本学が求める学生は、以下のような「総合性と専門性を高められる人」である。

- (1) 人間的魅力と豊かな教養を身につけようとする人
- (2) 自分が希望する職業について、専門的知識やスキルを積極的に身につけ、卒業後実社会で活躍する意欲のある人
- (3) 他人に対する優しさを持ち、自ら考え、自らの責任で行動できる人

＜学科のアドミッション・ポリシー＞

ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識、技能、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

- (1) 社会問題に対して、知識や情報をもとに筋道を立てて考えることができる。
- (2) 高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- (3) 希望の職業について、専門的な知識や技能、幅広い教養を積極的に身につけ、卒業後は社会で活躍する意欲がある。

入試における評価項目と内容

評価項目	内 容
知識・技能	高等学校の教育課程を幅広く修得している。
言語運用・表現力	高等学校までの履修内容のうち、「国語総合（現代文）」と「英語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎的な内容を身につけている。
論理思考・判断力	社会の様々な問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
関心・意欲・態度	職業教育をととして社会で活躍することに興味があり、その知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある。
主体的協働力	高等学校でのグループ学習、生徒会やクラブ活動、ボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。

入試区分毎の選考方法・選考内容・評価項目

入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語 運用 表現力	論理 考 判断力	主体的 協働力
指定校推薦	推薦書	指定高等学校長からの推薦状を評価する。		○			○
	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特別活動の記録も参考とする。	○				○
	願書	主体的協働力を評価する。					○
	個人面接	本学の「建学の精神」「教育理念」「アドミッション・ポリシー」「高等学校での活動」「社会の様々な問題」等に関する内容を中心に面接をする。		○	○	○	○
	＜指定校推薦のアドミッション・ポリシー＞ 面接評価・調査書・学校長の推薦書のいずれからも誠実さと創造性がうかがえ、社会での活躍が期待できる人 ＜入試の特徴＞ 評定平均値が指定校推薦の基準に達しており、人物的にも優れ、学校長の推薦が得られ、本学への入学を強く希望する人を対象とした推薦入試 ※上記高等学校は大学入学資格付与指定を受けた専修学校高等課程を含みます。（以下、同じ）						
入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語 運用 表現力	論理 考 判断力	主体的 協働力
公募推薦	推薦書	高等学校長からの推薦状を評価する。		○			○
	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特別活動の記録も参考とする。	○				○
	願書	主体的協働力を評価する。					○
	個人面接	本学の「建学の精神」「教育理念」「アドミッション・ポリシー」「高等学校での活動」「社会の諸問題」等に関する内容を中心に面接をする。		○	○	○	○
	小論文	40 分で 600 字の小論文を評価する。			○	○	
	＜公募推薦のアドミッション・ポリシー＞ 本学の教育理念である「職業教育を通じて、豊かな人間性と技能を育み、社会に貢献し、社会と共に幸せな生活を営むことのできる人材を育成する。」に共感し、自ら本学の教育理念の実現に向けて努力できる人 ＜入試の特徴＞ 学業成績が優良で出身校の校長が推薦する方を対象とした書類審査と面接と小論文の総合判定による推薦入試						

入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語運用 表現力	論理思考 判断力	主体的 協働性
特別推薦	推薦書	高等学校長からの推薦状を評価する。		○			○
	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特別活動の記録も参考とする。	○				○
	願書	主体的協働性を評価する。					○
	個人面接	「本学への志望理由」「資格取得やクラブ、生徒会等を通じて高等学校での活動」「社会の諸問題」等に関する内容を中心に面接する。		○	○	○	○
	＜特別推薦のアドミッション・ポリシー＞ 本学が求める学生像としての資質を備え、諸活動に積極的に取り組んだ実績または経験を有する人 ＜入試の特徴＞ 資格取得や、クラブ活動、生徒会など学業以外の活動にも積極的に取り組み活躍し、高等学校長の推薦を得られる人を対象とした推薦入試 ＜入試の種類＞ スポーツ、資格、一芸一能、男子（子ども学科、健康福祉学科）						
入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語運用 表現力	論理思考 判断力	主体的 協働性
自己推薦	自己推薦書	1) 本学への志望理由および将来の展望について 2) 自己を推薦する理由や内容等 3) 取得している資格・検定等 上記に関する内容を踏まえて、より具体的に記入し提出する。	○	○			○
	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特別活動の記録も参考とする。	○				○
	願書	主体的協働性を評価する。					○
	個人面接	「本学への志望理由」「資格・検定やその他諸活動」「社会の諸問題」等に関する内容を中心に面接する。		○	○	○	○
	＜自己推薦のアドミッション・ポリシー＞ 高等学校における学習や課外活動の実績を踏まえ、自らの個性を発展させることを追究し続けることにより、自らの進路を切り拓いて社会で活躍できる人 ＜入試の特徴＞ 自分自身を推薦し自己PRをすることができる人を対象とした入試						

入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語運用 表現力	論理思考 判断力	主体的 協働性
一般入試	学力試験	「国語」（国語総合＜現代文のみ＞）、 「外国語」（コミュニケーション英語 Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ）から 1 教科も しくは 2 教科選択し、マークシート 及び記述式で出題する。 配点は、各教科 100 点満点	○	○	○	○	
	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特 別活動の記録も参考とする。	○				○
	＜一般学力のアドミッション・ポリシー（一般入学前期 AB・後期共通）＞ 1. 自己の専門分野の領域を深く追求したい人 2. 各領域を幅広く学修し、幅広い思考力を養い将来活躍したい人 3. 各種資格取得に興味があり、その意欲にあふれている人 ＜入試の特徴＞ ・1 教科受験 1 教科を選択し、その得点で判定する学力試験 ・2 教科受験 2 教科を選択し、高得点の 1 教科で判定する学力試験						
入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語運用 表現力	論理思考 判断力	主体的 協働性
AO 入試	体験授業 イベント	オープンキャンパス等の体験授業や イベントに参加して、授業の狙いや内 容等について本学での学修の理解を 促すと共に、その取り組み姿勢を評価 する。	○	○	○	○	○
	エントリー シート	体験授業を踏まえて、「本学への志望 理由」「学生生活の在り方」「将来への 展望」等を具現化させた内容を記入し 提出する。		○	○		
	個人面談	面談によって、受験生の関心と本学の 教育方針・内容が適合するかどうかを 総合的に評価する。		○	○	○	○
	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特 別活動の記録も参考とする。	○				○
	入学前プロ グラム	入学前に生徒の持つ資質や意欲・関心 やコミュニケーション能力等を計る		○			○
	＜AO 入試のアドミッション・ポリシー＞ 1. 本学への入学を強く希望し、本学の教育理念を具現するにふさわしい人						

	2. 学習意欲が旺盛で創造力・行動力などに優れた資質を有する人 3. 特定の資格取得に興味関心が強く、その取得に熱意を有する人 ＜入試の特徴＞ ・本学への入学を強く希望し、本学の教育理念を具現するにふさわしい人、学習意欲が旺盛で創造力・行動力などに優れた資質を有する人、特定の資格取得に興味関心が強く、その取得に熱意を有する人を対象とする試験 ・エントリーシート・調査書・ＡＯ面談・体験授業の評価等により総合的に判定 ・合格後、入学前に実施される「入学前プログラム」に参加すること						
入試区分	実施・選考方法	選考内容	知識 技能	関心 意欲 態度	言語運用 表現力	論理考 判断力	主体的 協働力
シニア・社会人・帰国生徒 入学試験	調査書	高等学校での学習の記録を評価し、特別活動の記録も参考とする。	○				○
	願書	主体的協働力を評価する。					○
	小論文	問題理解力、説得力、構成力、文章力を総合的に評価する。			○	○	
	履歴書 (社会人のみ)	職業を通じて、社会人としてのこれまでの活動を評価する。	○				○
	個人面接	「本学への志望理由」「自己を推薦する理由」「これまでの活動」「社会の諸問題」等に関する内容を面接する。		○	○	○	○
＜シニア・社会人・帰国生徒入学試験のアドミッション・ポリシー（シニア・社会人）＞ 社会人としてのビジネス経験を通して生じた課題を解決するとともに、専門分野における自らのレベルアップを図ることにより、さらなる社会貢献ができる人 ＜シニア・社会人・帰国生徒入学試験のアドミッション・ポリシー（帰国生徒）＞ 海外において修得した知識や方法論を、ビジネスの視点から総合的に発展させ、国内外のビジネス界で活躍しようとする人 ＜入試の特徴＞ シニア・社会人・帰国生徒のための小論文と面接による試験							